

科目分類	看護専門科目 領域別看護	開講時期	1年	後期		
授業科目	母性看護学概論					
選択／必修	必修	単位数（時間数）	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	野々山 未希子					
メールアドレス	m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	指定なし・事前連絡必要			

授業目的	女性の生涯を通じた身体的・心理的・社会的な健康を支援するためには、母性としての健康のみを考えるのではなく、女性を取り巻く人的・物的・社会的環境を含めた女性の健康（ウイメンズヘルス）を支援していく必要がある。生涯を通じた女性の健康課題を理解し、その支援の在り方について理解する。
授業概要	母性看護学の対象および、ウイメンズヘルス支援の場と支援者の役割について理解するとともに、女性の生涯を通じて特に支援が必要な健康課題と女性の人権を阻害する環境要因、支援者としての看護職の役割を学ぶ。
授業内容	第1回 母性看護の概念および女性のライフサイクルにおける健康課題 第2回 リプロダクティブヘルス・ライツと女性の人権 第3回 思春期女性の健康課題（二次性徴と月経） 第4回 思春期女性の健康課題（望まない妊娠と避妊の選択） 第5回 性成熟期女性の健康課題 第6回 母子の健康と性感染症 第7回 不妊とその看護 第8回 更年期女性の健康課題
教科書 参考書等	教科書：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論 医学書院 参考書：必要時提示する
成績評価 基準・方法	試験（100%）
履修要件	特になし
留意事項 その他	学生の発言を求めため、自分の考えを言葉として伝えること。 本科目を修得していないと母性看護学実習は履修できません。
実務経験のある 教員の教育方法	看護師・助産師としての臨床経験および、思春期保健・リプロダクティブヘルスに関連する教育・研究・社会活動を通じて得た知識・経験を活かして、母性看護の責務と楽しさ、母性看護のあり方を教授する。